

本アンケートへのご協力をお願い申し上げます。 ぜひ、みなさまの声をお聞かせください。

市民アンケート(案)

～働くことについての意識やワーク・ライフ・バランス*について～

平成30年6月
岡山市女性が輝くまちづくり推進課

平素から岡山市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

岡山市では、女性が社会の中で能力を十分に発揮できるよう、女性にとっても男性にとっても働きやすい職場環境づくりや、女性活躍に向けた働き方及び意識の改革に取り組んでいます。

こうした中、本市の女性が輝くまちづくり関連施策を検討する基礎資料とすることを目的に、主に企業・組織等で働くことに関する意識調査を実施いたします。

1 調査項目

本調査は、主に「働くことに関する意識」についておうかがいします。

2 調査対象

市内にお住まいの20歳代から50歳代の方の中から無作為に選ばせていただいた男女3,000人の方にお送りしております。

3 調査基準日

特にことわりのない場合、平成30年6月1日現在の状況についてお答えください。

4 ご記入後について

同封の返信用封筒に入れ、7月17日(火)までに郵便ポストにご投函くださいますようお願いいたします。

5 その他

- 本アンケートは無記名で行い、収集したデータは、統計的に処理し、働くことに関する意識の把握、今後の施策の検討を行うため以外に使用することはありません。
また、個々のデータ、個人名を公表することはいっさいありません。
- 本アンケートの収集結果は、岡山市のホームページなどで公表する予定です。
- 調査票は封筒宛名にお名前のある、ご本人様をご記入くださいますよう、お願いいたします。
- 設問へのご回答は、選択肢がある場合はその番号を○で囲み、それ以外の場合は適宜ご記入ください。

本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願いいたします。

この調査についてのご質問は、以下のお問い合わせ先までお問い合わせください。

※ワーク・ライフ・バランスって何？

仕事を持つ人が、やりがいを持って働きながら家庭や地域においても充実した生活を送り、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた多様な生き方が選択・実現できること。

【お問い合わせ先】

岡山市女性が輝くまちづくり推進課
高村
電話：086-803-1115
FAX：086-803-1845

I あなた自身のプロフィール

問1 あなた自身についておうかがいします。

問1-1 年代を教えてください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 | 4 50歳代 |
|--------|--------|--------|--------|

問1-2 性別を記入してください。

()

問1-3 結婚されていますか。

- | | | |
|------|--------------|----------|
| 1 未婚 | 2 既婚(事実婚を含む) | 3 離別又は死別 |
|------|--------------|----------|

問1-4 同居されているご家族について教えてください。

ひとり暮らしの場合は1を、それ以外の場合はあなたから見た続柄で該当する方をいくつでもお選びください。

- | | | |
|-----------|---------------------|----------|
| 1 同居者はいない | 4 配偶者・パートナー | 7 祖父母 |
| 2 父母 | 5 子ども | 8 孫 |
| 3 兄弟姉妹 | 6 子どもの配偶者
・パートナー | 9 その他() |

問1-5 あなたに同居の子どもがいる場合、その状況(複数の場合は末子)を教えてください。

- | | | |
|-----------------|-------------|----------|
| 1 就学前 | 4 中学生 | 7 社会人 |
| 2 小学校低学年(1~3年生) | 5 高校生 | 8 その他() |
| 3 小学校高学年(4~6年生) | 6 大学生・専門学校生 | |

II 現在の就労状況

問2 現在の就労状況についてあてはまるものを1つだけお選びください。

- | | | |
|-----------|-------------|--|
| 1 会社経営・自営 | 3 パート・アルバイト | 5 その他就労中 () |
| 2 正社員・正職員 | 4 派遣社員・派遣職員 | 6 就労していない → 問2-2へ |

問2-1 現在就労している方(問2で1～5を選んだ方)におうかがいします。

現在就労している会社や組織の主要な業種として、あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------|
| 1 建設業 | 6 卸売業 | 12 飲食サービス業 |
| 2 製造業 | 7 小売業 | 13 教育、学習支援業 |
| 3 電気・ガス・熱供給・水道業 | 8 金融、保険業 | 14 医療、福祉 |
| 4 情報通信業 | 9 不動産・物品賃貸業 | 15 その他のサービス業 |
| 5 運輸業 | 10 専門・技術サービス業 | 16 農林水産業 |
| | 11 宿泊業 | 17 その他() |

問2-1-1 現在就労しているあなたの主要な職種として、あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | |
|-------------|---|
| 1 経営者・個人事業主 | |
| 2 管理職 | (役員・部長・次長・課長など、経営方針の策定や各部門にまたがる管理業務を行う職種) |
| 3 専門技術職 | (製造技術者、情報処理・通信技術者などの専門的な知識や技術が必要な職種) |
| 4 事務職 | (庶務や経理など定型業務が多い職種) |
| 5 営業職 | (物品販売の勧誘、交渉など対外折衝の多い職種) |
| 6 販売職 | (販売店員や受付など、物品販売や取り次ぎを行う職種) |
| 7 生産労務職 | (生産、建設、機械操作などの労務的な作業に従事する職種) |
| 8 運輸・通信職 | (乗り物の運転や通信機の操作などに従事する職種) |
| 9 サービス・保安職 | (美容、調理、接客などのサービスや、警備、守衛など保安に従事する職種) |
| 10 補助・その他 | (補助的作業に従事する職種、その他) |

問2-1-2 現在就労している会社や組織の勤務年数について、あてはまるものを1つだけお選びください。
(経営者・自営業の方は従事年数を教えてください。)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 4 10年以上20年未満 |
| 2 1年以上5年未満 | 5 20年以上30年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 30年以上 |

↓
女性は何3へ
男性は何5へ

問2-2 現在就労していない方(問2で6を選んだ方)におうかがいします。
現在就労していない理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 希望する職種の仕事がない
- 2 希望する労働条件に合った仕事がない
- 3 希望する勤務時間に合った仕事がない
- 4 仕事と家庭生活の両立が難しい
- 5 配偶者・パートナーの理解が得られない
- 6 配偶者・パートナー以外の家族の理解が得られない
- 7 出産
- 8 子育て
- 9 家族の看護・介護
- 10 自身の健康上の理由
- 11 魅力のある仕事がない
- 12 経済的に困ってない
- 13 就労したくない
- 14 その他()

問2-2-1 今後の就労についてあてはまるものを1つだけお選びください。

- 1 起業して、経営者・個人事業主として働きたい
- 2 正社員・正職員として働きたい
- 3 パート・アルバイトとして働きたい
- 4 派遣社員・派遣職員として働きたい
- 5 その他()
- 6 今後も就労の予定はない

問2-2-2 今後就労を希望する方(問2-2-1で1～5を回答された方)におうかがいします。
就労に際し不安なことがありますか。

1 ある

2 ない →

女性は何3へ
男性は何5へ

問2-2-3 就労に際し不安なことがある方(問2-2-2で「1ある」を選んだ方)におうかがいします。
不安なことについてあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 希望する職種の仕事があるか
- 2 希望の労働条件に合うか
- 3 希望する勤務時間帯であるか
- 4 子育てと両立できるか
- 5 家族の看護・介護と両立できるか
- 6 残業があるのではないか
- 7 転勤があるのではないか
- 8 配偶者・パートナーや家族の理解と協力が得られるか
- 9 業務での高い専門知識やスキルが求められるのではないか
- 10 その他()

※男性の方は問5にお進みください。

Ⅲ 結婚・育児の際の就労について

問3 就労している時に結婚のご経験のある女性の方におうかがいします。

※それ以外の方は問4にお進みください。

結婚した時の仕事に対する思いと仕事の継続に関する決定として、あてはまるものを1つだけお選びください。

- 1 辞めたいと思うことなく働いた → 問4へ
- 2 辞めたかったが働いた
- 3 辞めたかったので退職した
- 4 辞めたくなかったが退職した
- 5 その他() → 問4へ

問3-1 問3で「2 辞めたかったが働いた」「3 辞めたかったので退職した」「4 辞めたくなかったが退職した」を選んだ方におうかがいします。

辞めたいと思った又は退職した理由としてあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 仕事と家庭を両立する自信がなかった
- 2 仕事に続けたいと思うほどの魅力がなかった
- 3 配偶者・パートナーの理解と協力が得られなかった
- 4 配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力が得られなかった
- 5 結婚後は退職するものという職場の雰囲気があった
- 6 配偶者・パートナーと同居するために転居しなければならなかった
- 7 配偶者・パートナーからの退職してほしいという希望があった
- 8 結婚したら退職しようと思っていた
- 9 その他()

問4 就労している時に出産・育児のご経験のある女性の方におうかがいします。

※それ以外の方は問5にお進みください。

出産・育児に際しての仕事に対する思いと仕事の継続に関する決定について、あてはまるものを1つだけお選びください。

- 1 辞めたいと思うことなく働いた → **問5へ** 4 辞めたくなかったが退職した
2 辞めたかったが働いた 5 その他() → **問5へ**
3 辞めたかったので退職した

問4-1 問4で「2 辞めたかったが働いた」「3 辞めたかったので退職した」「4 辞めたくなかったが退職した」を選んだ方におうかがいします。

辞めたいと思った又は退職した理由として、あてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 仕事と子育てを両立する自信がなかった
2 仕事に続けたいと思うほどの魅力がなかった
3 配偶者・パートナーの理解と協力が得られなかった
4 配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力が得られなかった
5 配偶者・パートナーからの退職してほしいという希望があった
6 子どもを預ける施設やサービスがなかった
7 自分の手で子どもを育てたかった
8 職場に妊娠・出産後は退職するものという雰囲気があった
9 職場に妊娠・出産後、仕事を継続するための支援制度がなかった
10 その他()



IV 女性の雇用環境について

問5 みなさんにおうかがいします。

女性が企業や組織で働き続けるために、何が重要だと思いますか。特に重要と思われるものを3つまでお選びください。

- 1 子育てや、家族の介護・看護を支援する公的制度の充実
- 2 企業や組織における仕事と家庭の両立支援制度の整備、充実
(育児休業制度、短時間勤務制度、事業所内託児施設の運営など)
- 3 配偶者・パートナーの理解と協力
- 4 配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力
- 5 仕事と家庭(子育て・介護など)に関する職場の上司の理解
- 6 仕事と家庭(子育て・介護など)に関する職場の同僚の理解
- 7 女性の就労を促進しようという経営トップの意思表示
- 8 休暇がとりやすい職場の雰囲気
- 9 女性が働きやすい職場の雰囲気
- 10 残業を減らすなどの組織の取組
- 11 幅広い職務経験や教育、研修などによる女性自身のキャリアアップ、スキルアップ
- 12 昇進、昇給の機会があること
- 13 やりがいのある仕事を持つこと
- 14 職場におけるロールモデル(目指したい先輩)の存在
- 15 信頼できるメンター(相談相手、指導者)の存在
- 16 **女性自身の自覚、意欲の向上**
- 17 その他()

問6 みなさんにおうかがいします。

女性の職業能力がより発揮できるようにするために、取り組む必要があると思うものは何ですか。特に重要と思われるものを3つまでお選びください。

- 1 幅広い職務経験
- 2 スキルアップのための職場内での教育、訓練
- 3 スキルアップのための職場外での教育、研修
- 4 資格の取得
- 5 仕事を通じた人脈づくり
- 6 公平・公正な人事制度の導入
- 7 出産や育児等による休業がハンディとされない人事制度の導入
- 8 女性の能力発揮の重要性についての**職場内での啓発**
- 9 その他()

問7 みなさんにおうかがいします。

女性の社会進出が進んでいく中で、女性の管理職が増えていくことに対するあなたの考えに近いものを1つだけお選びください。

- 1 非常に良いことだと思う
- 2 どちらかといえば良いことだと思う
- 3 どちらかといえば良くないことだと思う
- 4 良くないことだと思う

問7-2へ

問7-1 問7で「1 非常に良いことだと思う」又は「2 どちらかといえば良いことだと思う」を選んだ方におうかがいします。理由としてあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 管理職として女性が能力を発揮することは経済、社会の活性化につながる
- 2 管理職として女性が能力を発揮することは会社や組織にとって有益である
- 3 女性が能力・適性に応じて管理職に就くことは当然だ
- 4 女性が管理職として自分の働き方を選べるのは当然だ
- 5 女性の管理職は自分が働いていくうえでの目標となる
- 6 職場の体質、イメージが良くなると思う
- 7 職場や社会に女性が進出して欲しい
- 8 なんとなくそう思う
- 9 その他()

問8へ

問7-2 問7で「3 どちらかといえば良くないことだと思う」又は「4 良くないことだと思う」を選んだ方におうかがいします。理由としてあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 女性は管理職に向かない
- 2 管理職の仕事と家庭の両立には周りの人や職場に負担(迷惑)がかかる
- 3 職場の雰囲気が変わってやりにくい
- 4 女性の管理職はあまり前例がない
- 5 家庭を支えている男性が管理職になれなくなる
- 6 女性は家庭的であるべきだ
- 7 職場や社会に女性が進出して欲しくない
- 8 なんとなくそう思う
- 9 その他()

問8 みなさんにおうかがいします。

あなた自身が企業や組織の中で管理職を目指して働きたいかどうか、あなたの考えに近いものを1つだけお選びください。

- 1 非常にそう思う
- 2 ややそう思う

問9へ

- 3 あまりそう思わない
- 4 まったくそう思わない

問8-1 問8で「3 あまりそう思わない」又は「4 まったくそう思わない」を選んだ方におうかがいします。
選んだ理由としてあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 能力・体力に自信がない
- 2 自分の雇用形態では昇進の可能性がない
- 3 ^た妬まれて足を引っ張られる
- 4 周りに同性の管理職がない
- 5 やるべき仕事が増える
- 6 責任が重くなる
- 7 メリットがない又は低い
- 8 仕事と家庭の両立が困難になる
- 9 配偶者・パートナーや家族が賛成しない
- 10 もともと長く勤める気がない
- 11 定年が近い
- 12 今の仕事に満足している
- 13 その他()

問9 みなさんにおうかがいします。
企業や組織で女性の管理職が少ない理由についてどのように思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 就ける職種が限られていることで、幅広い職務経験が不足している
- 2 管理職として必要な経験、知識が不足している
- 3 判断力、折衝力、企画力、マネジメント力などが不足している
- 4 女性自身が管理職となって活躍することを望んでいない
- 5 家事や育児などの負担があるため管理職としての対応ができない
- 6 結婚や出産で退職することが多い
- 7 残業、出張、転勤に応じられる人が少ない
- 8 管理職が出産等で休業した場合の代替要員の確保が難しい
- 9 働きやすい職場環境を整備するための会社や組織の負担が重い
- 10 管理職に対する取引先の理解が十分でない
- 11 男性従業員の理解が十分でない
- 12 管理職の理解が十分でない
- 13 役員層の理解が十分でない
- 14 配偶者・パートナーや家族の理解が十分でない
- 15 その他()

V ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

問10 みなさんにおうかがいします。
男性が育児休業や介護休業などを取ることにについて、あなたの考えに近いものを1つだけお選びください。

- 1 積極的にとるべき
- 2 どちらかといえば、取る方がよい
- 3 どちらかといえば、取らない方がよい
- 4 取るべきではない

問11 みなさんにおうかがいします。
育児休業や介護休業などを取る男性は少ないのが現状ですが、その理由について、あなたの考えに近いものを3つまでお選びください。

- 1 職場の理解が得られない
- 2 将来のキャリアアップに影響する恐れがある
- 3 仕事の量が多い
- 4 仕事の責任が重い
- 5 休業中は収入が少なくなり、家計を支えることができなくなる
- 6 育児や介護は女性の役割であるという意識がある
- 7 休業後の待遇面が心配だ
- 8 同僚に迷惑をかける
- 9 その他()

問12 みなさんにおうかがいします。
男性も女性も仕事と家庭を両立するために、何が重要だと思いますか。特に重要と思われるものを3つまでお選びください。

- 1 長時間残業の削減
- 2 短時間勤務、フレックスタイムや在宅勤務の普及
- 3 家族や配偶者の子育て、介護、家事の**分担**
- 4 上司や同僚の理解
- 5 育児・介護等による休業がハンディとされない評価制度の導入
- 6 育児・介護等に関するサービスの充実
- 7 育児・介護休暇などを利用しやすい職場環境
- 8 育児・介護休業中の給付金の充実
- 9 子育て・介護などによる退職後の再雇用制度の普及
- 10 その他()

問13 現在就労中の方におうかがいします。
現在働いている会社や組織では、仕事と家庭が両立しやすい雰囲気になっているか、あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 なっている | 3 どちらかといえばなっていない |
| 2 どちらかといえばなっている | 4 なっていない |

問14 現在就労中、又は過去に就労経験のある方におうかがいします。
現在働いている又は過去に働いていた会社や組織において、仕事と家庭の両立支援制度(育児・介護休業や短時間勤務制度など)を利用した経験はありますか。

- 1 ある → 問15へ 2 ない

問14-1 問14で「2 ない」を選んだ方におうかがいします。
利用しなかった理由としてあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 制度が整備されていなかった
- 2 利用する必要がなかった
- 3 収入が減ってしまう
- 4 職場に迷惑がかかる
- 5 職場が取得しづらい雰囲気だった
- 6 職場の理解がなかった
- 7 家族が賛成しなかった
- 8 今後のキャリア形成に影響があると思った
- 9 制度についてよくわからなかった
- 10 自身が利用対象者になっていなかった
- 11 その他()

VI その他自由意見

問15 仕事に対する考え、仕事と家庭の両立等について、困っていること、工夫していることその他ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。

最後までご協力いただきありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、返信用封筒に入れて、7月17日(火)までにご投函ください。

